

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。

### ■施工される方へのお願い

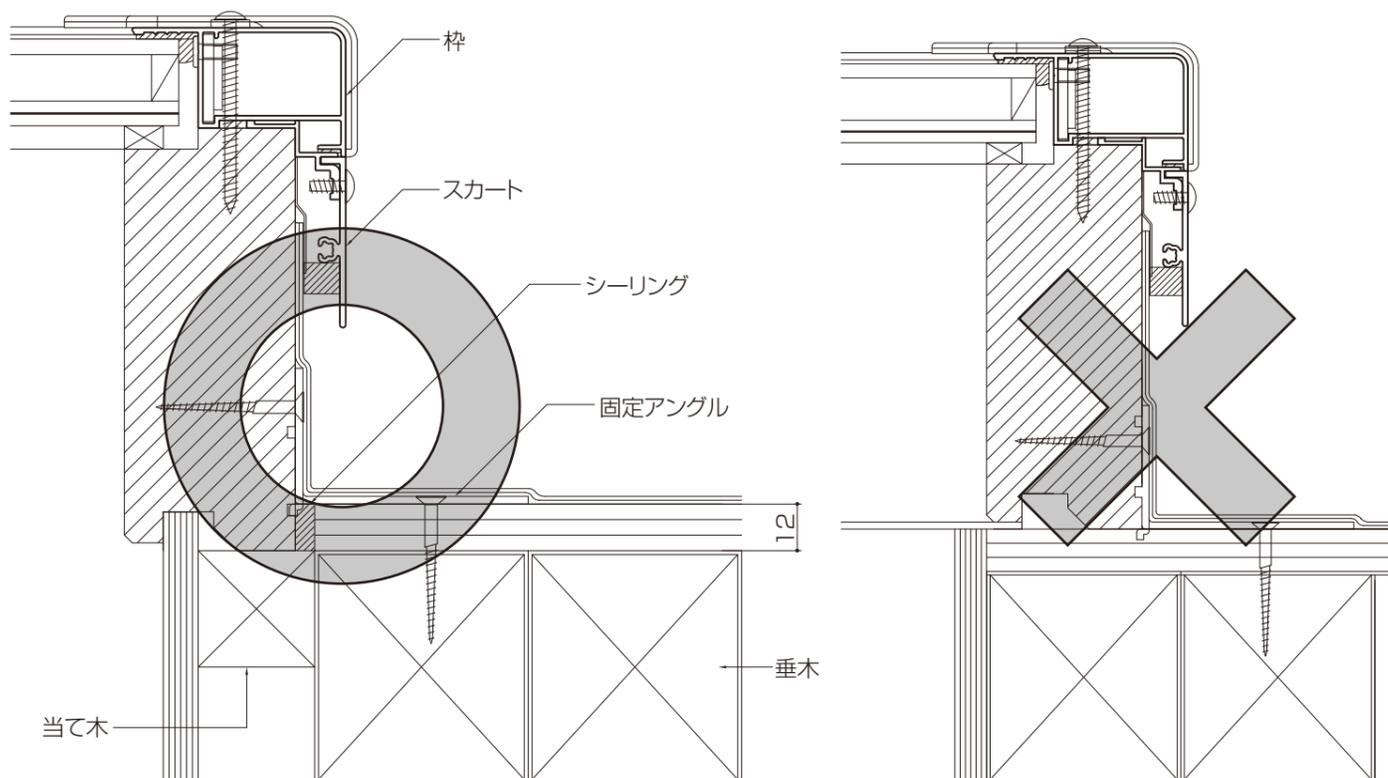
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

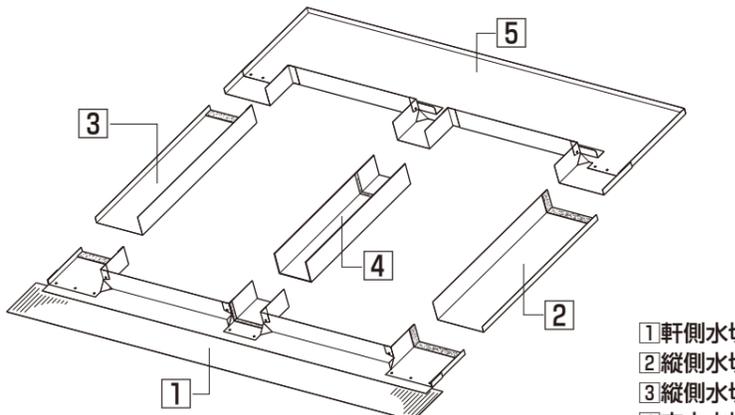
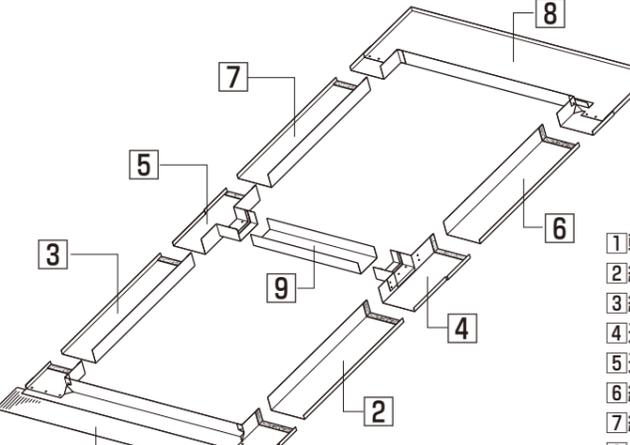
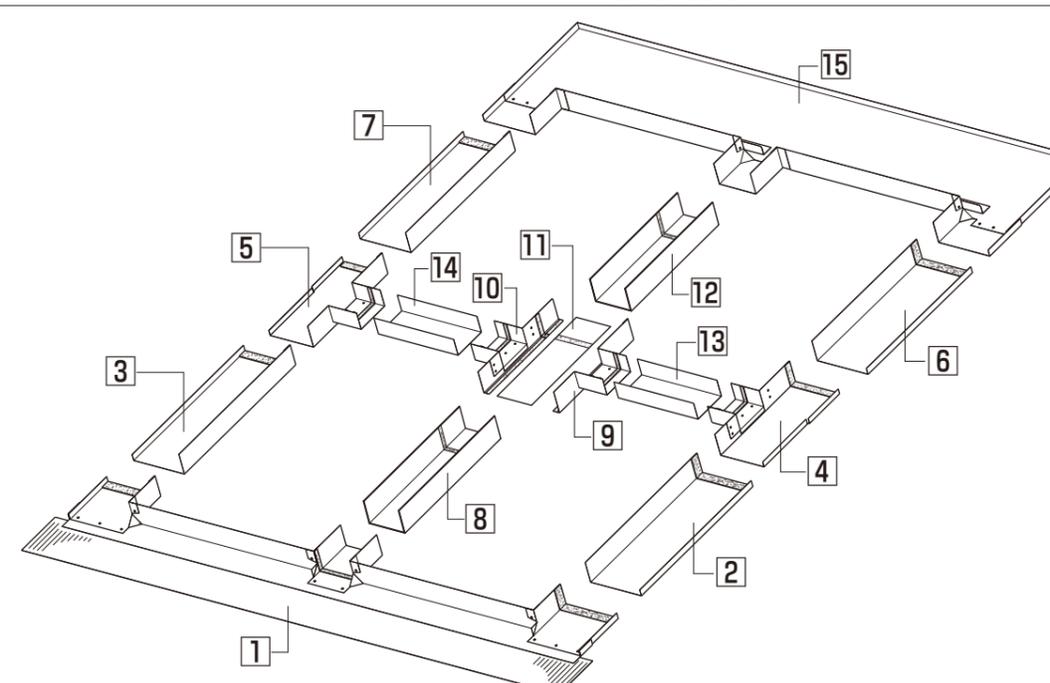
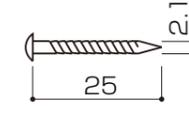
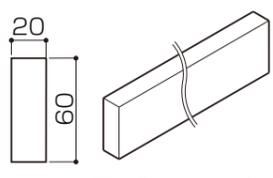
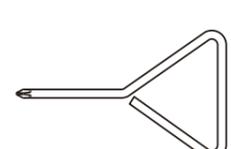
### ▲注意

- 雨漏りの原因となりますので、下記事項をお守りください。
- ・この商品は、野地板表面からの高さが7mm以上(瓦棧のつくもの)で瓦棧からの高さが100mm以内の屋根材専用です。7mm未満の屋根材には「コロニアル用水切りセット」をお使いください。
- ・水切りを取付ける前に、「スカイシアター」本体が標準施工であることを確認してください。標準施工とは「スカイシアター」本体が野地板より一段(12mm)下がった当て木の上に取り付けられる仕様をいいます。
- ・連窓時の左右の天窓および段窓時の上下の天窓の間隔は、いずれも110(+2、-0)mmとしてください。水切りの納まりが悪くなります。
- ・瓦棧の高さは、必ず15mm～18mmのものを使用してください。水切りの納まりが悪くなるおそれがあります。
- ・本体のコーナー部は、本文にしたがってルーフィングのコーナーが重なるように処理を行ってください。
- ・コーナーブチルの張付けは、ピンホールができないように、角部まで押付けてください。
- ・本文中のシーリング指示個所には、必ずシーリング材で防水処理をしてください。
- ・水切りの3方(棟側・左右縦側)には、必ずドライ面戸を張付けてください。屋根材の裏側に水が浸入するおそれがあります。
- ・エプロンとドライ面戸のすき間のシーリングを必ず実施してください。
- ・開口部の軒側端部から瓦棧までの距離は、必ず120mm～150mmの間に納まるようにしてください。また、水切り部に水がたまらないようにエプロン受け台を取付け、軒側瓦の端部を面取りしてください。
- ・瓦の施工時、本体と棟側瓦との間は100mm～130mmあけて、縦側瓦との間は50mm～80mmあけてください。
- ・エプロン裏面のリケイ紙をはがしてから瓦の形状になじませてください。また、強くたたいたり、引っ張ったりしてエプロンに穴をあけないでください。あいた場合には交換してください。
- ・各水切り部材は防水テープをめくりながら取付けてください。
- ・スカートは、組立てねじを先に取付けてください。取付けねじを先につけるとコーキングシーラーのつぶれが弱くなります。
- ・水切りは部材番号印の番号順に、また文字が反転しないように取付けてください。
- ・防水テープは浮き、シワにならないように強く押付けて張付けてください。

### ■標準施工



■ 梱包部材・部品一覧表

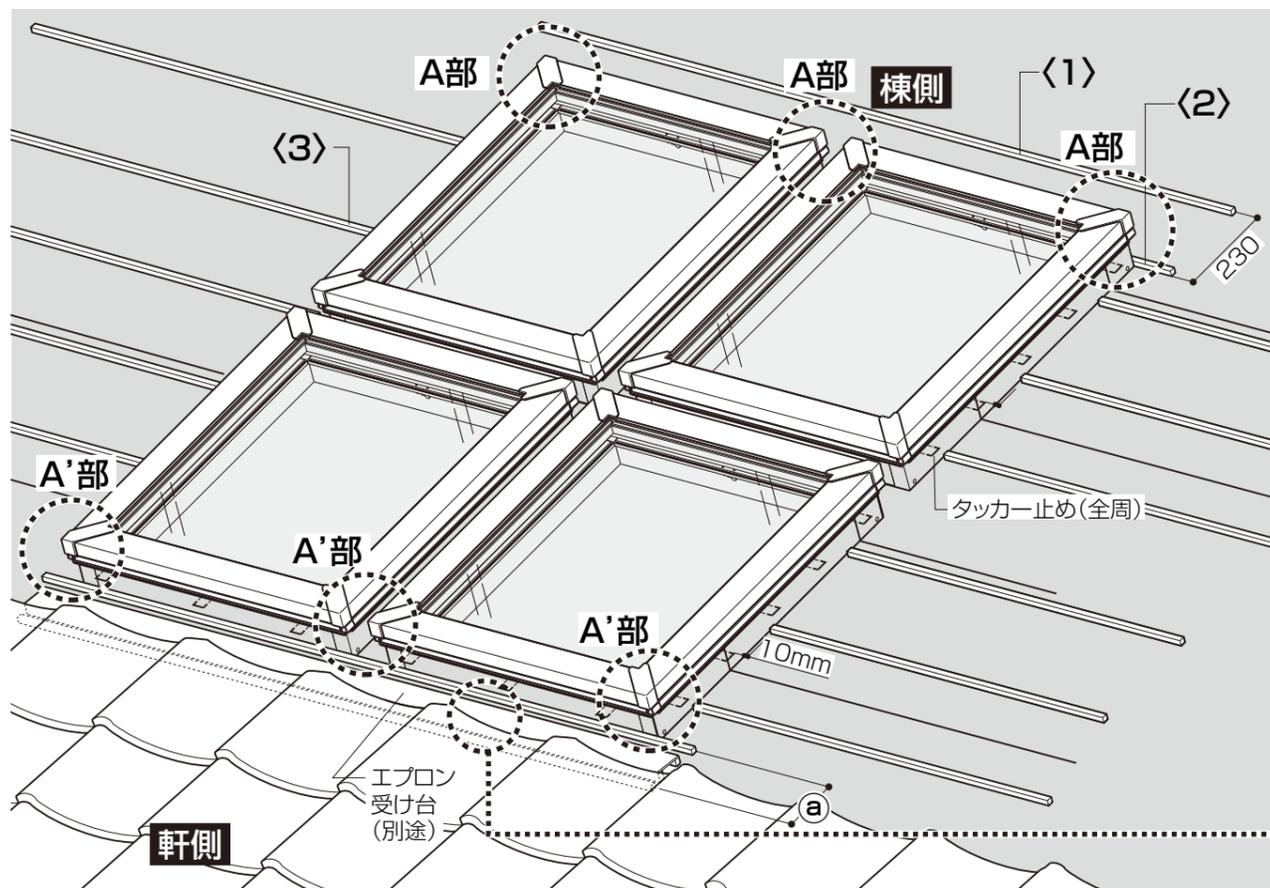
連窓用水切り	段窓用水切り
 <p>1 軒側水切り 2 縦側水切り(右) 3 縦側水切り(左) 4 方立水切り 5 棟側水切り</p>	 <p>1 軒側水切り 2 縦側水切り(右下) 3 縦側水切り(左下) 4 連結縦側水切り(右) 5 連結縦側水切り(左) 6 縦側水切り(右上) 7 縦側水切り(左上) 8 棟側水切り 9 無目水切り</p>
 <p>1 軒側水切り 2 縦側水切り(右下) 3 縦側水切り(左下) 4 連結縦側水切り(右) 5 連結縦側水切り(左) 6 縦側水切り(右上) 7 縦側水切り(左上) 8 方立水切り(下) 9 連段窓連結水切りA(右) 10 連段窓連結水切りA(左) 11 連段窓連結水切りB 12 方立水切り(上) 13 無目水切り(右) 14 無目水切り(左) 15 棟側水切り</p>	<p>水切り固定スクルー釘</p>  <p>(35本)</p> <p>ドライ面戸</p>  <p>縦用…2本または4本 横用…1本</p> <p>ドライバー</p>  <p>(1本)</p>

●以下の順序は連段窓の場合ですが連窓、段窓の場合も同様に施工してください。

■ 取付け順序

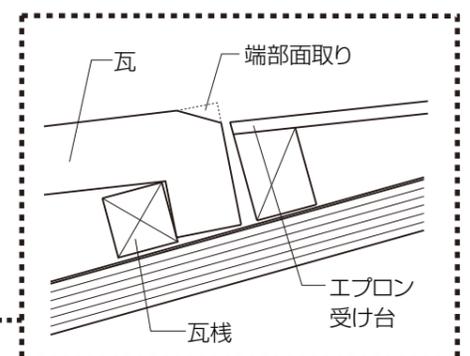
1 ルーフィングおよび下地の施工

- 下図のようにルーフィング(別途手配)を張ります。ルーフィングは、防水テープをめくり、防水テープの内側まで立ち上げてください。
- 瓦棧<1> ~ <3>(別途手配)を取付けます。  
※瓦棧は水切り施工する前に、必ず下図のように通しで取付けてください。
- 瓦棧と本体縦枠は排水性確保のため、すき間を10mmとってください。
- エプロンがへこんで穴があかないよう①寸法部に、エプロン受け台(別途手配)を取付けてください。



**▲ 注意**

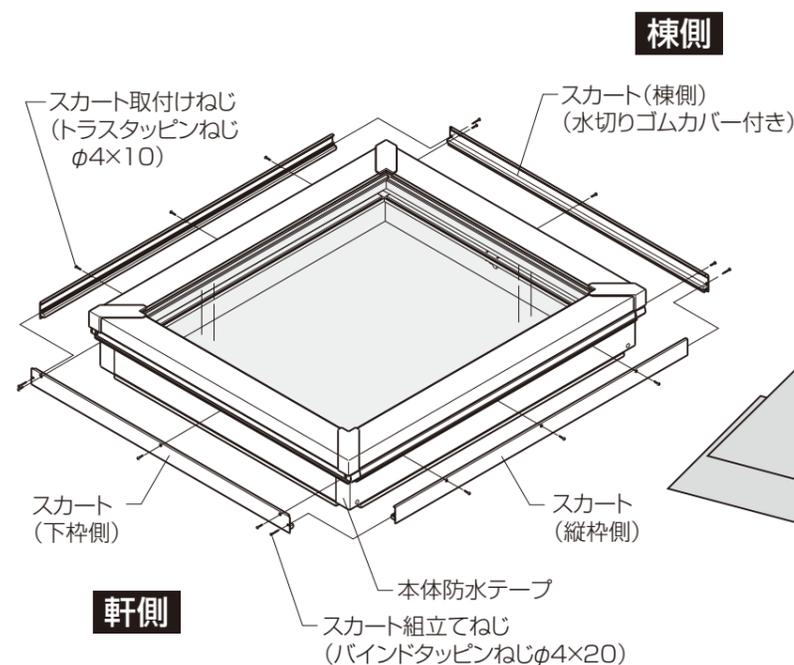
●①寸法は120mm ~ 150mmで取付けて、水切り部に水がたまらないようにエプロン受け台を取付け、軒側瓦の端部を面取りしてください。



①スカートの取外し

※スカート・ねじは大切に保管し、取付け時には必ず取付けてください。また、脱着しにくい個所のねじは、同梱のドライバーを使用してください。

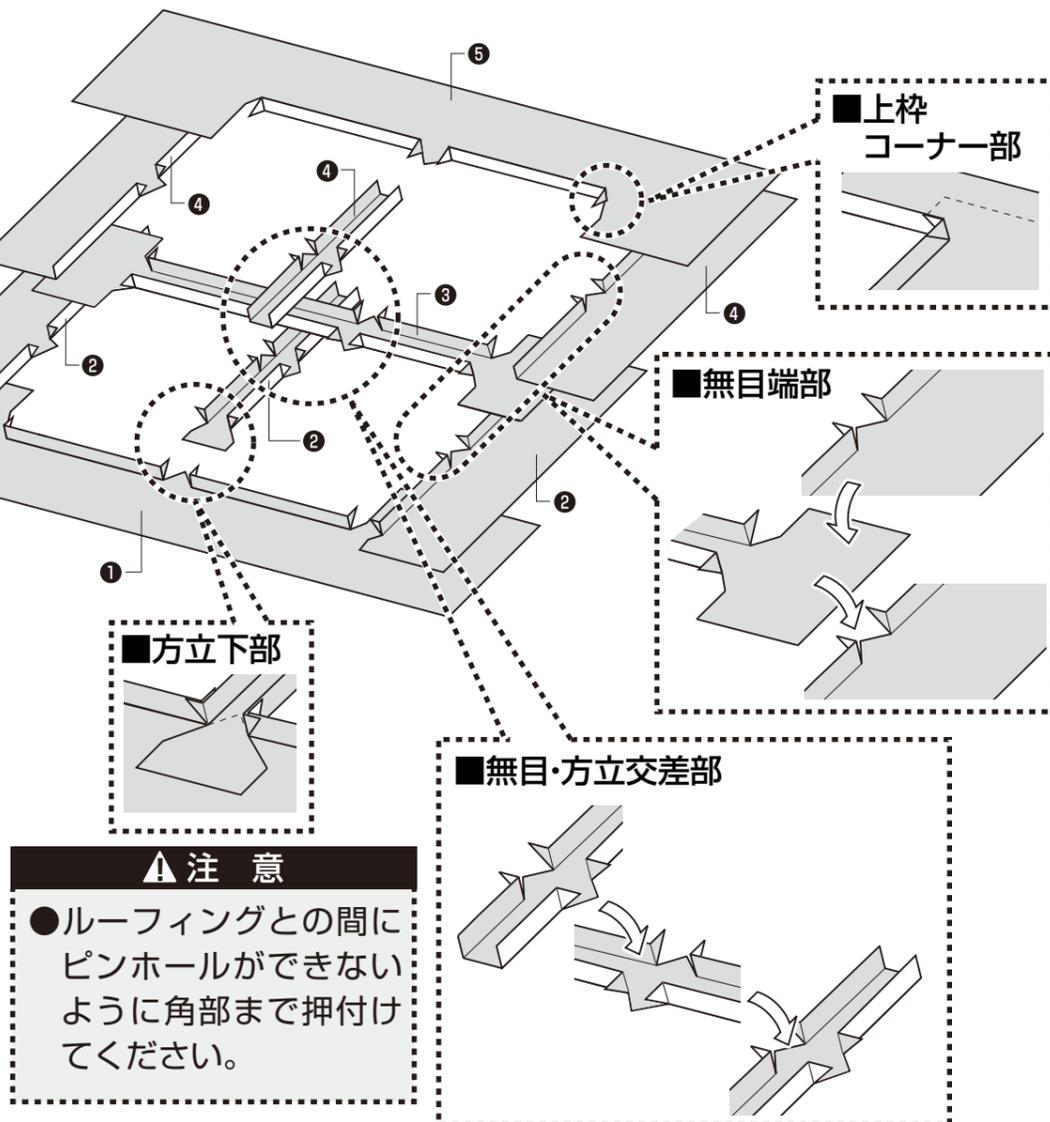
- スカート取付けねじ、スカート組立てねじを外して、本体からスカートを取外します。



②ルーフィングの張付け<A部・A'部詳細図>

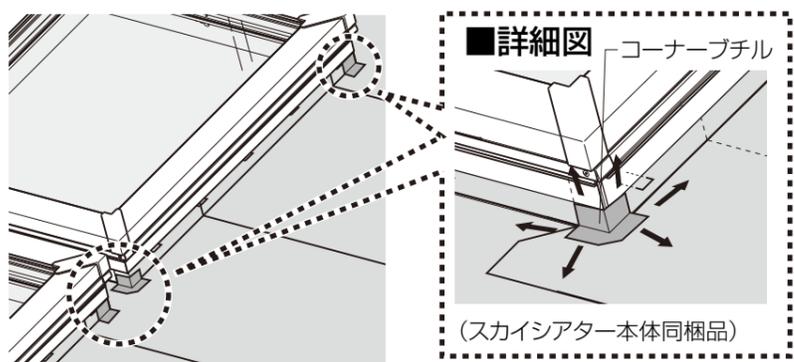
- 下図のように番号順にルーフィング(別途手配)を張ります。詳細図のように必ず、すべてのルーフィングをスカイシアターの枠にそって立ち上げ、コーナーを折り曲げてください。ルーフィングは必ずスカイシアターの間(無目部、方立部)にも張ってください。また、必ず本体についている防水テープをめくり、防水テープの内側まで立ち上げてください。

※図は連段窓の場合です。連窓・段窓の場合も同様に張付けてください。



③コーナーブチルの張付け

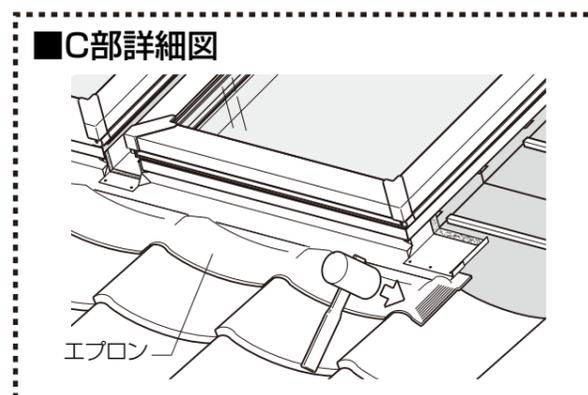
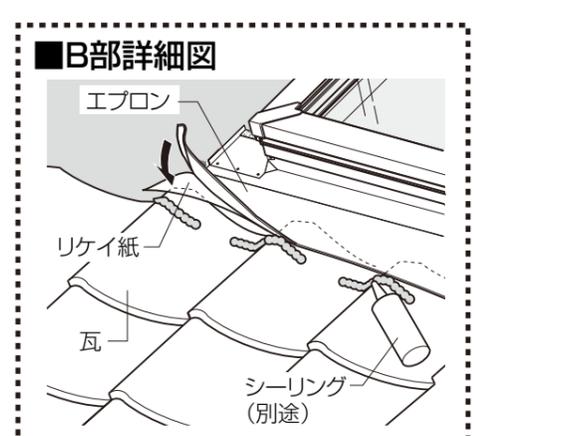
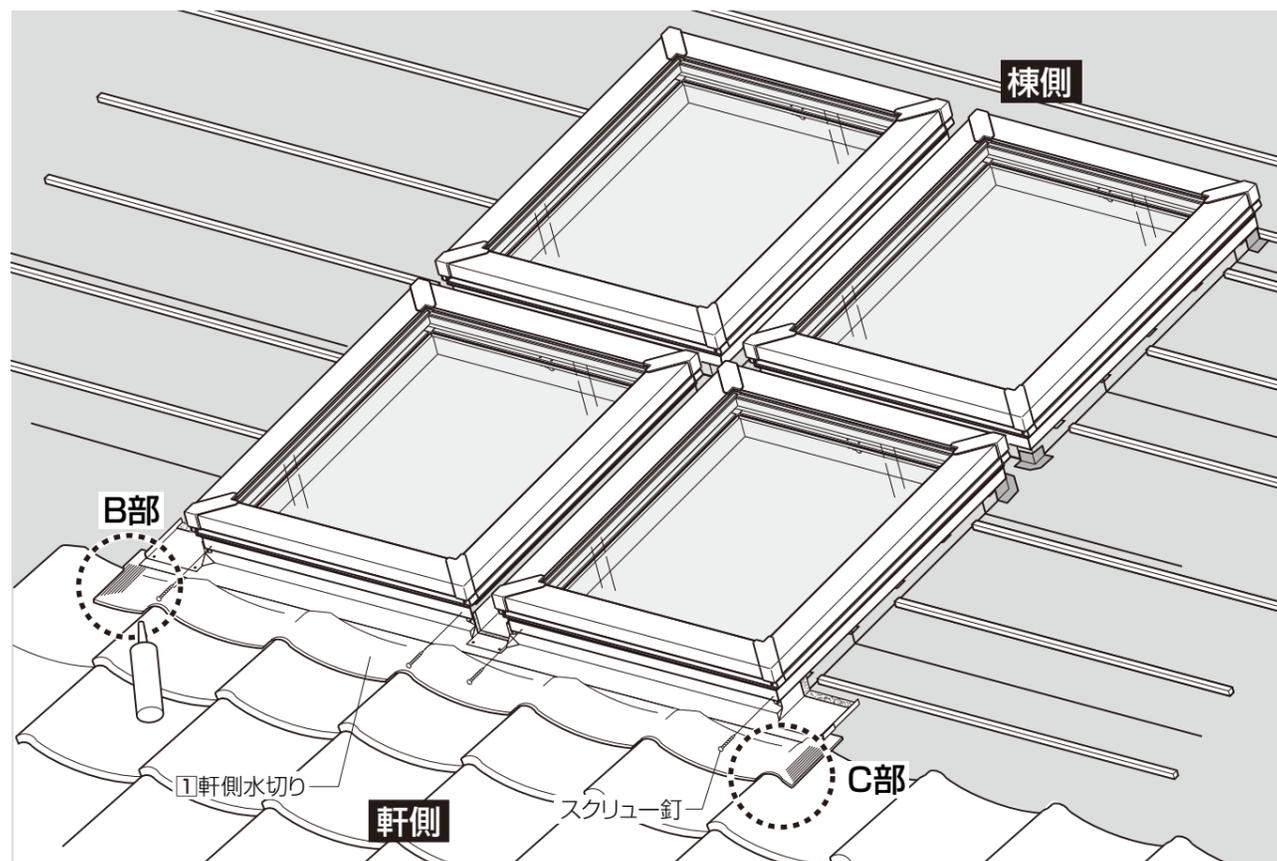
- コーナーブチルを本体の4隅に張付けます。



2 軒側水切りの取付け

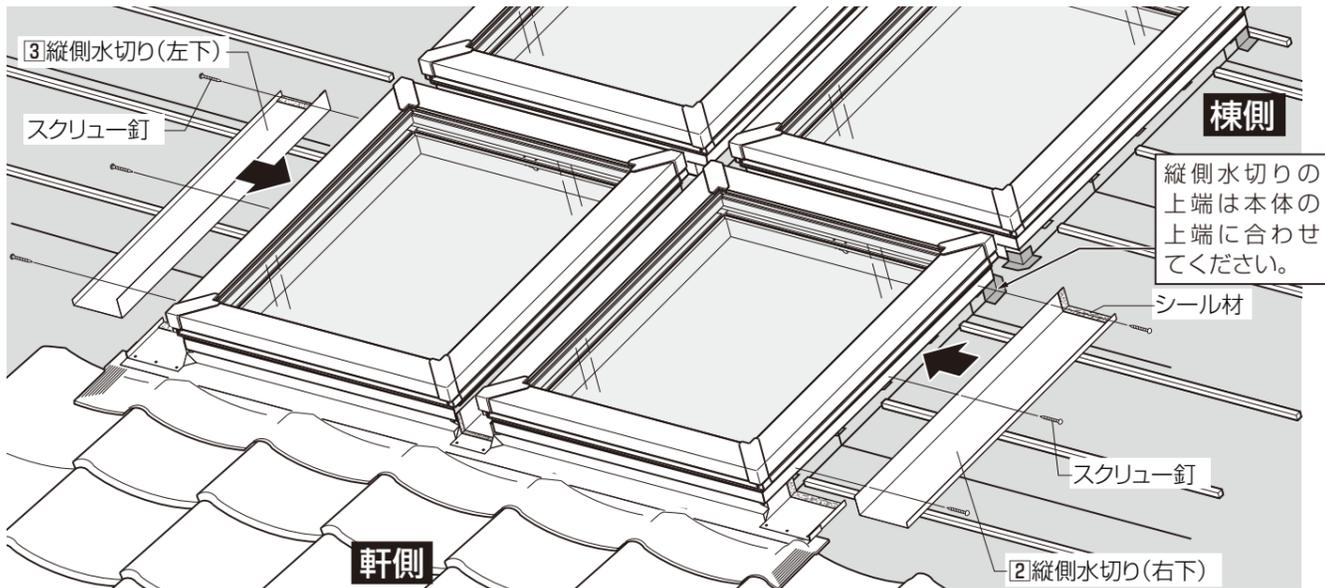
- 水切りの取付け順序は部材番号印の番号順に防水テープをめくって取付けます。
- 軒側水切り(1番)をスクリュー釘で取付けます。
- エプロンをめくり裏面のリケイ紙をはがしてください。(B部詳細図参照)
- エプロンの先端部にシーリング(別途手配)をしてください。(B部詳細図参照)
- エプロンを瓦の形状に合わせて、中央部から端部になじませます。(C部詳細図参照)

- 注意**
- エプロン裏面のリケイ紙をはがしてから瓦の形状になじませてください。
  - 強くたたいたり、引っ張ったりしてエプロンに穴をあけないでください。あいた場合は交換してください。
  - 水切りは部材番号印の番号順に、また文字が反転しないように取付けてください。
  - シーリング指示個所には、必ずシーリング材で防水処理をしてください。



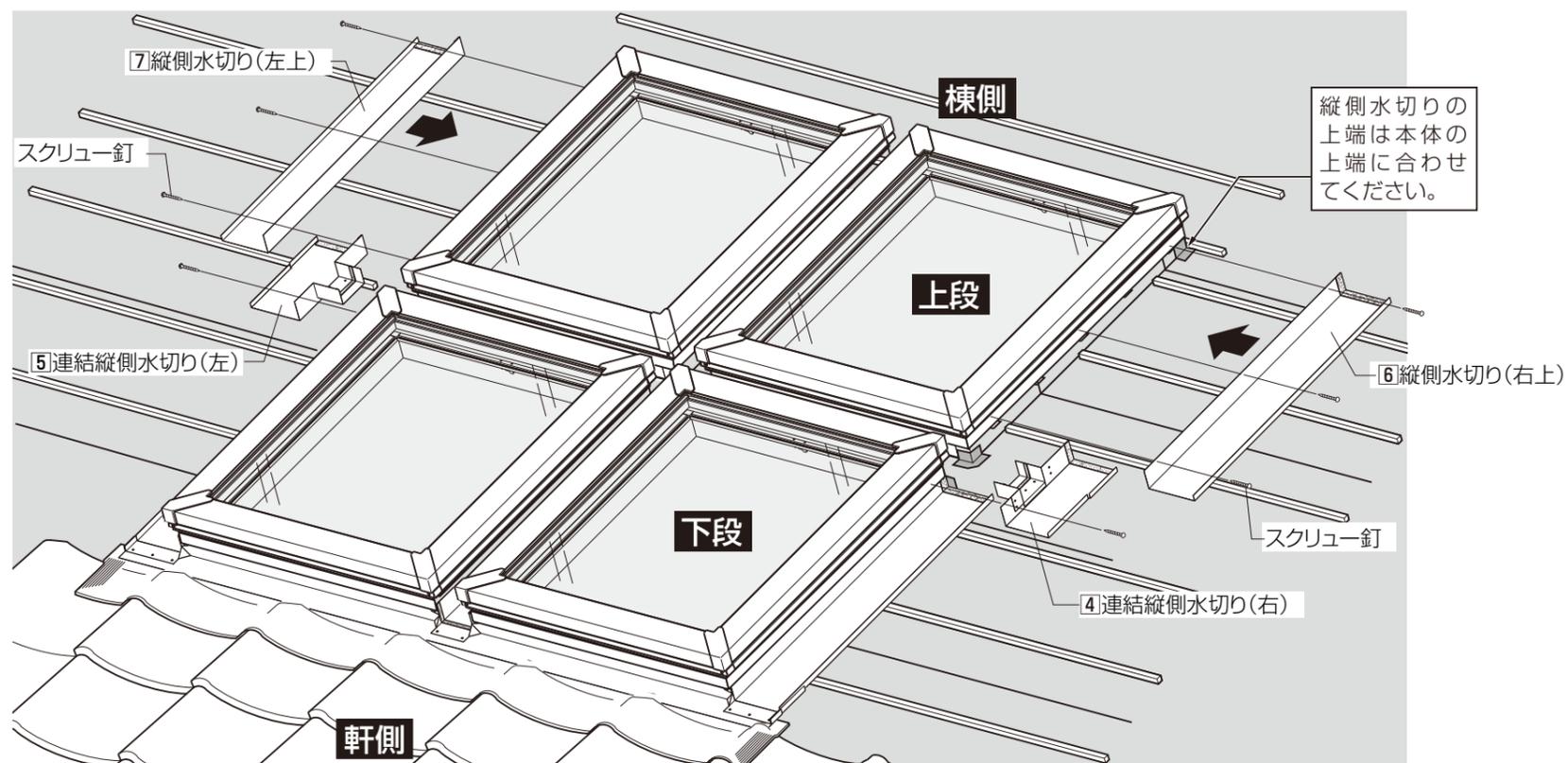
### 3 縦側水切りの取付け

- 軒側水切りに続いて、下図のように縦側水切りを取付けます。
- ※縦側水切りはシール材が棟側になるように配置してください。



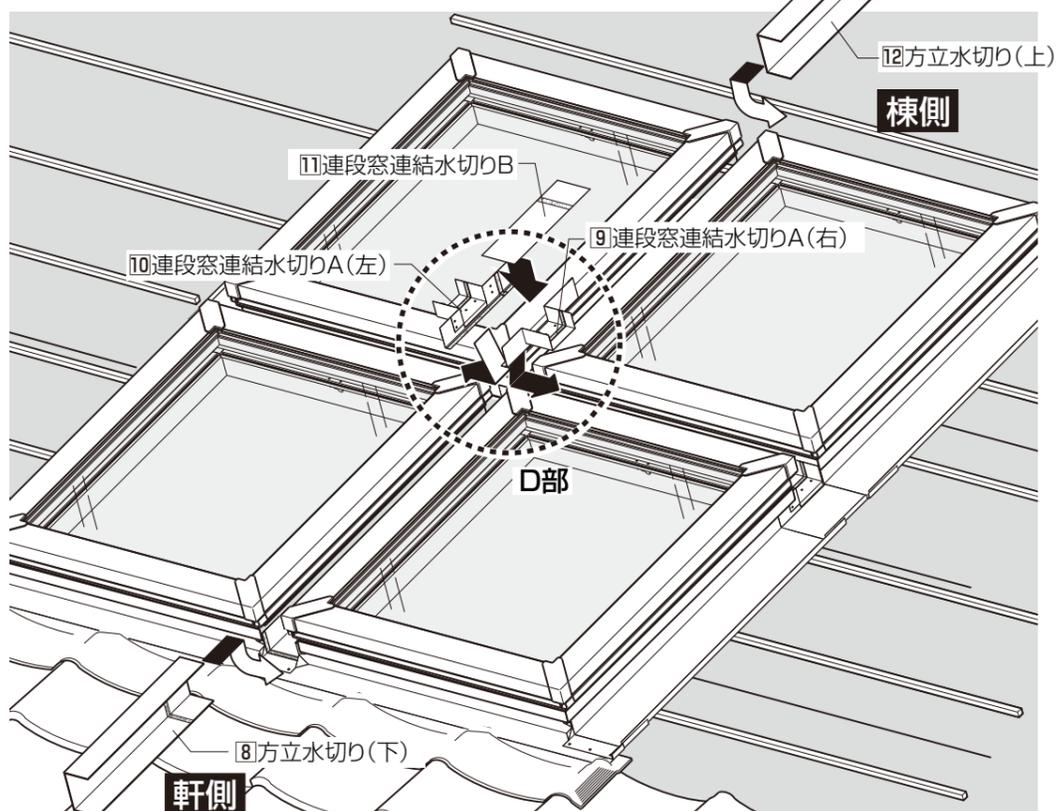
### 4 連結縦側水切りと上段天窓の縦側水切りの取付け(段窓・連段窓の場合)

- 段窓・連段窓の場合は連結縦側水切りと、上段の天窓の縦側水切りを取付けます。

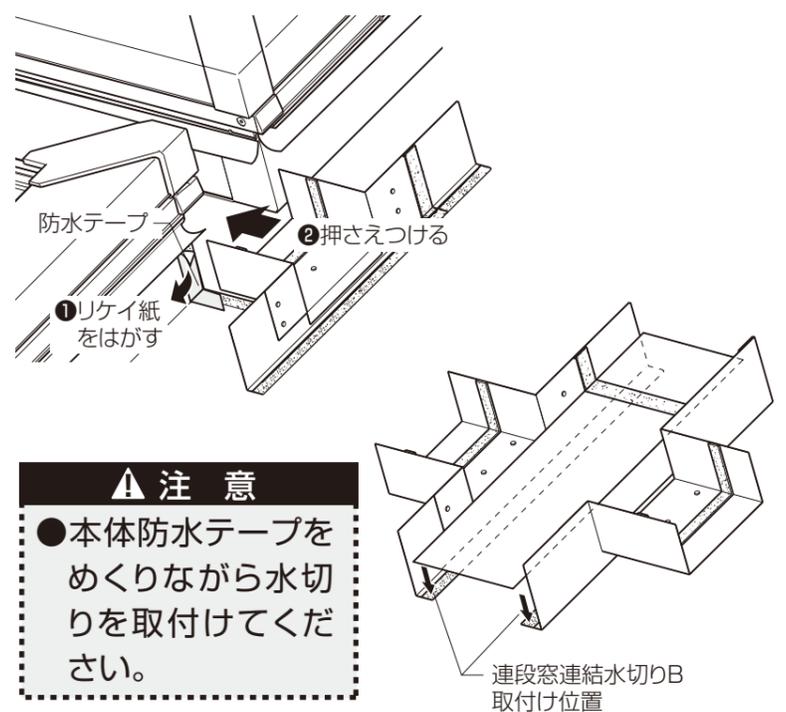


### 5 方立水切りと連段窓連結水切りA・Bの取付け(連窓・連段窓の場合)

- 方立部分(納まり図参照)に高さ15mmの補強材(別途手配)を取付けます。
- 連窓の場合は方立水切りを取付けます。連段窓の場合はさらに連段窓連結水切りA・Bおよび、上段の天窓の方立水切りを取付けます。
- ※方立水切りは天窓の間を回転させながら差込みます。
- 水切りの位置を決めたら、リケイ紙を抜き取るようにはがした後、押さえ付けてプチルテープと密着させます。



#### D部詳細図

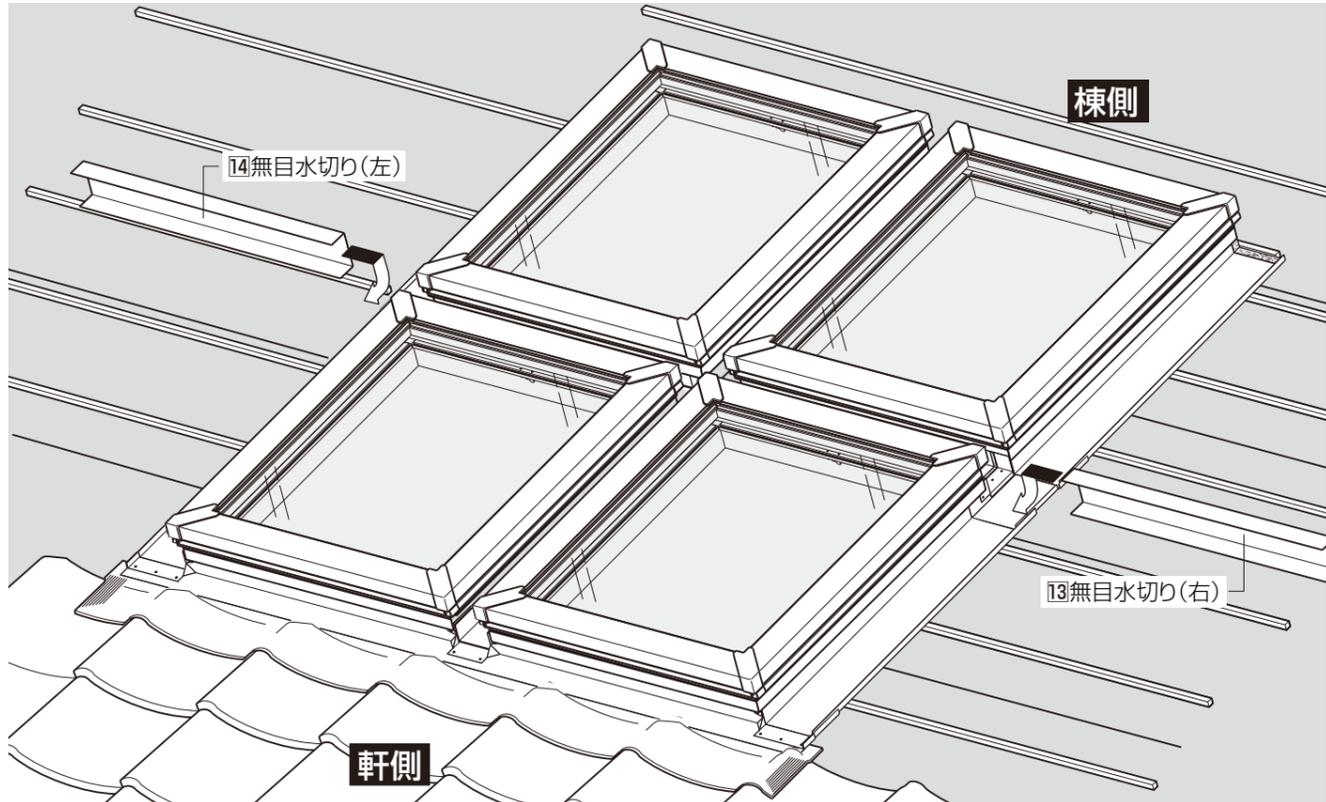


#### ▲ 注意

- 本体防水テープをめくりながら水切りを取付けてください。

## 6 無目水切りの取付け(段窓・連段窓の場合)

- 無目部分(納まり図参照)に高さ30mmの補強材(別途手配)を取付けます。
- 無目水切りを差込みます。
- ※無目水切りは天窗の間を回転させながら差込みます。
- 水切りの位置を決めたら、リケイ紙を抜き取るようにはがした後、押さえ付けてプチルテープと密着させます。

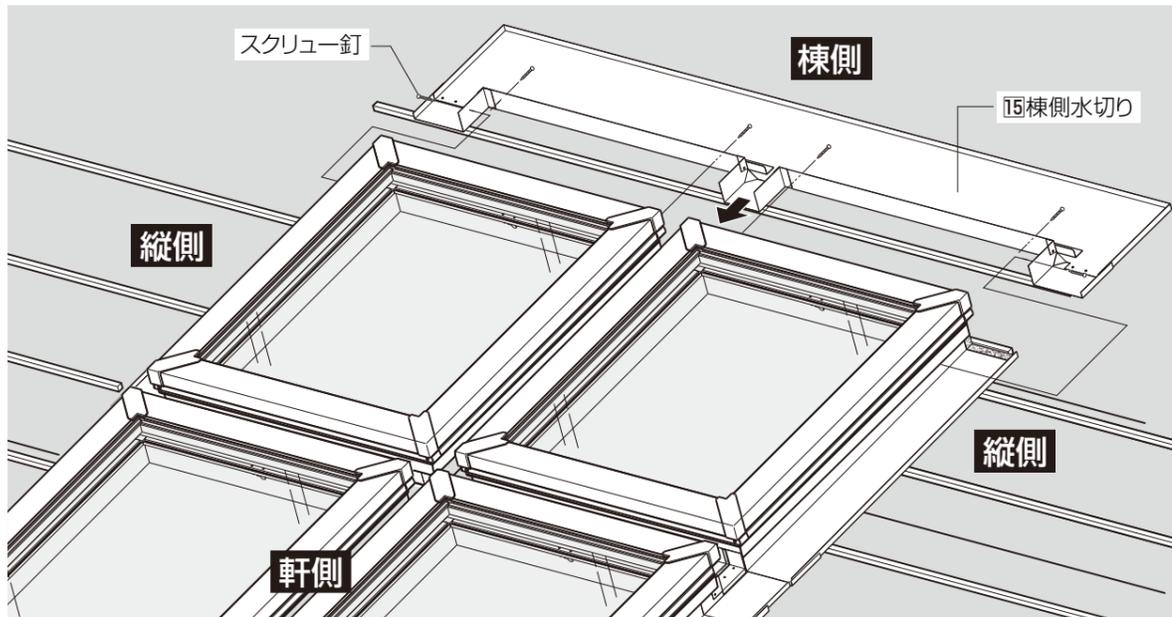


### ▲ 注意

- 本体防水テープをめくりながら水切りを取付けてください。

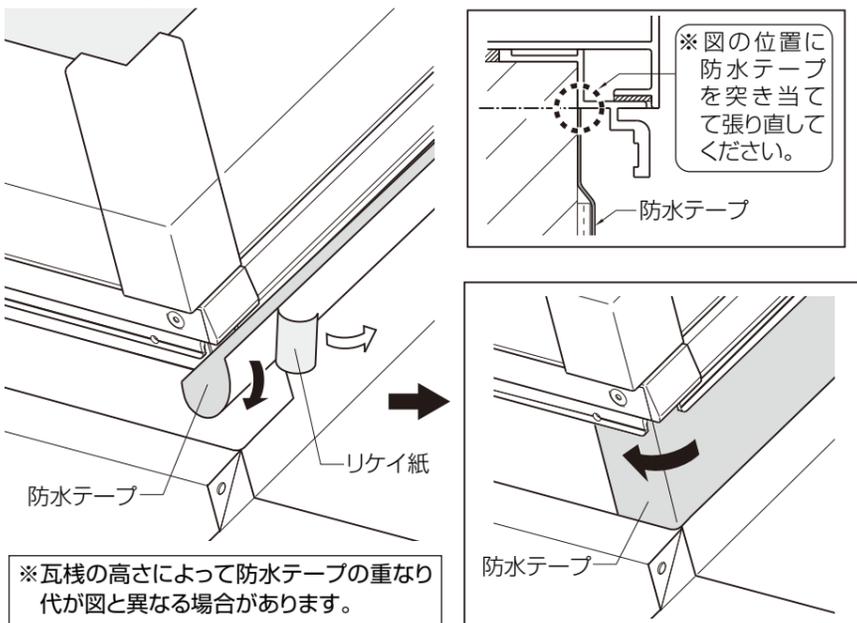
## 7 棟側水切りの取付け

- 棟側水切りを差込みます。
- 連段・連段窓の場合には位置決めした後に方立部のリケイ紙を抜き取るようにはがした後、押さえ付けてプチルテープと密着させます。
- 棟側面をスクリーナで取付けた後、縦側面をスクリーナで取付けてください。



## 8 本体防水テープの張付け

- 水切りの取付け順序と同じ番号順で本体防水テープのリケイ紙をはがし、水切りとすき間、浮き、シワにならないように全体を圧着し張付けます。端部のはみ出しは巻込むように重ねて張ってください。
- ※防水テープは強く引っ張ってはがさないでください。はがれた場合には図のように張り直してください。

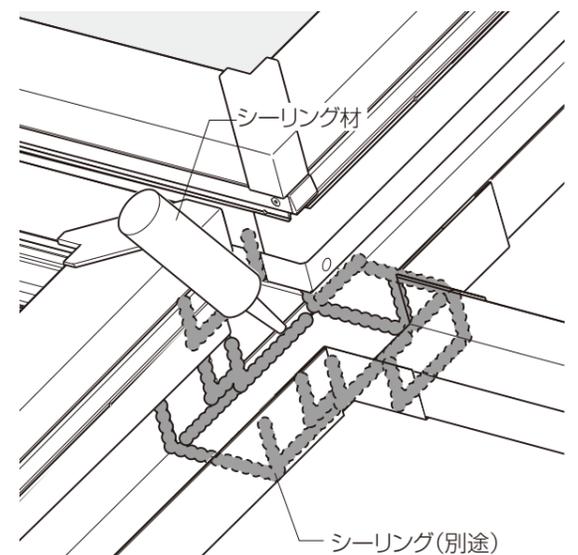


### ▲ 注意

- 防水テープは浮き、シワにならないように強く押付けて張付けてください。

## 9 無目・方立部の止水処理

- プチルテープで固定した無目両端、方立部上下の水切りの重なり個所には、シーリングをします。

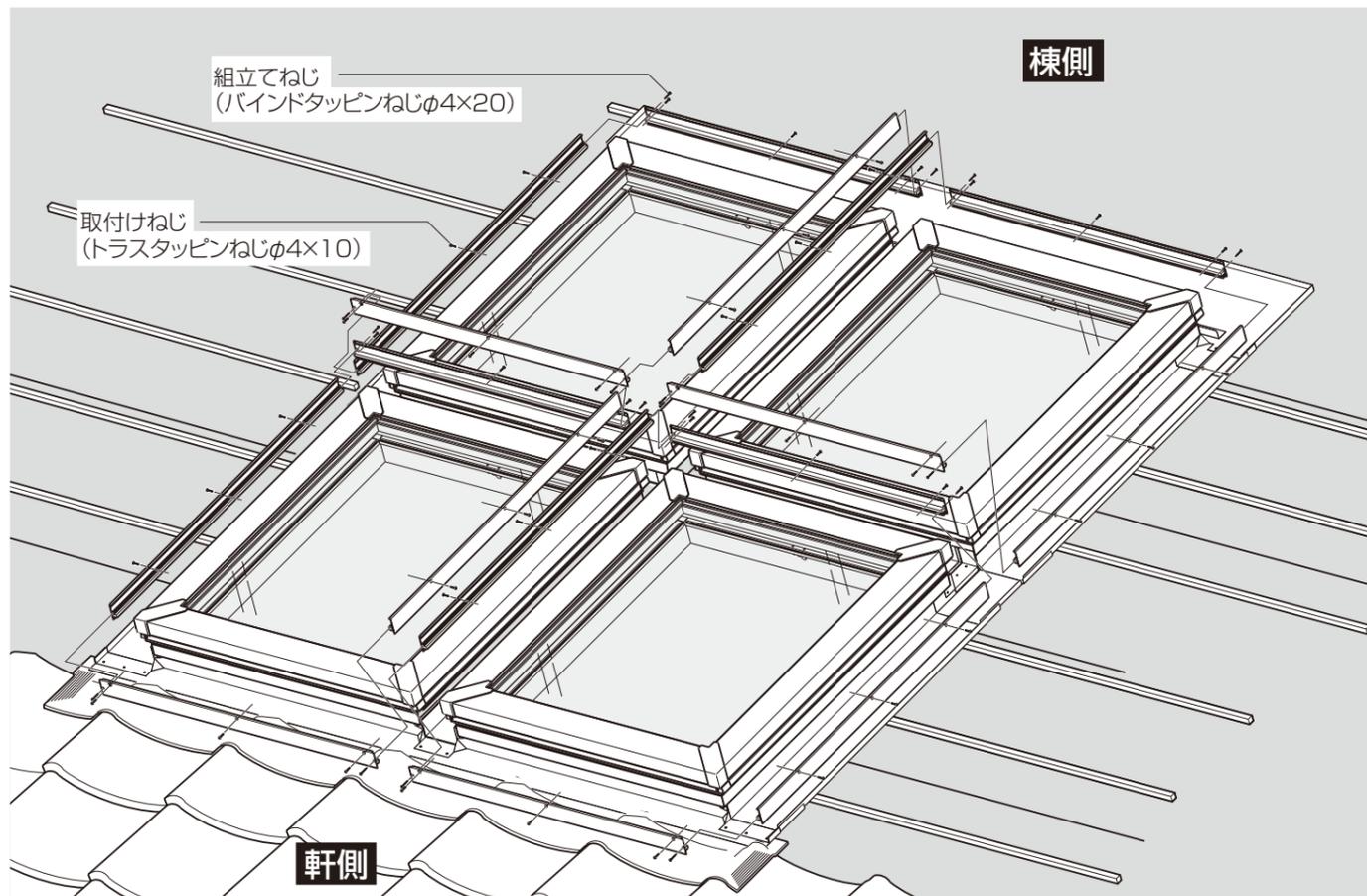


### ▲ 注意

- シーリング指示個所には、必ずシーリング材で防水処理をしてください。

## 10 スカートの取付け

- 本体のスカーートをすべて取付けます。(取付け順序は11の「①スカーートの取外し」の逆の手順です。)
- ※ 天窓の間(無目部・方立部)は付属のドライバーを使ってねじを取付けてください。

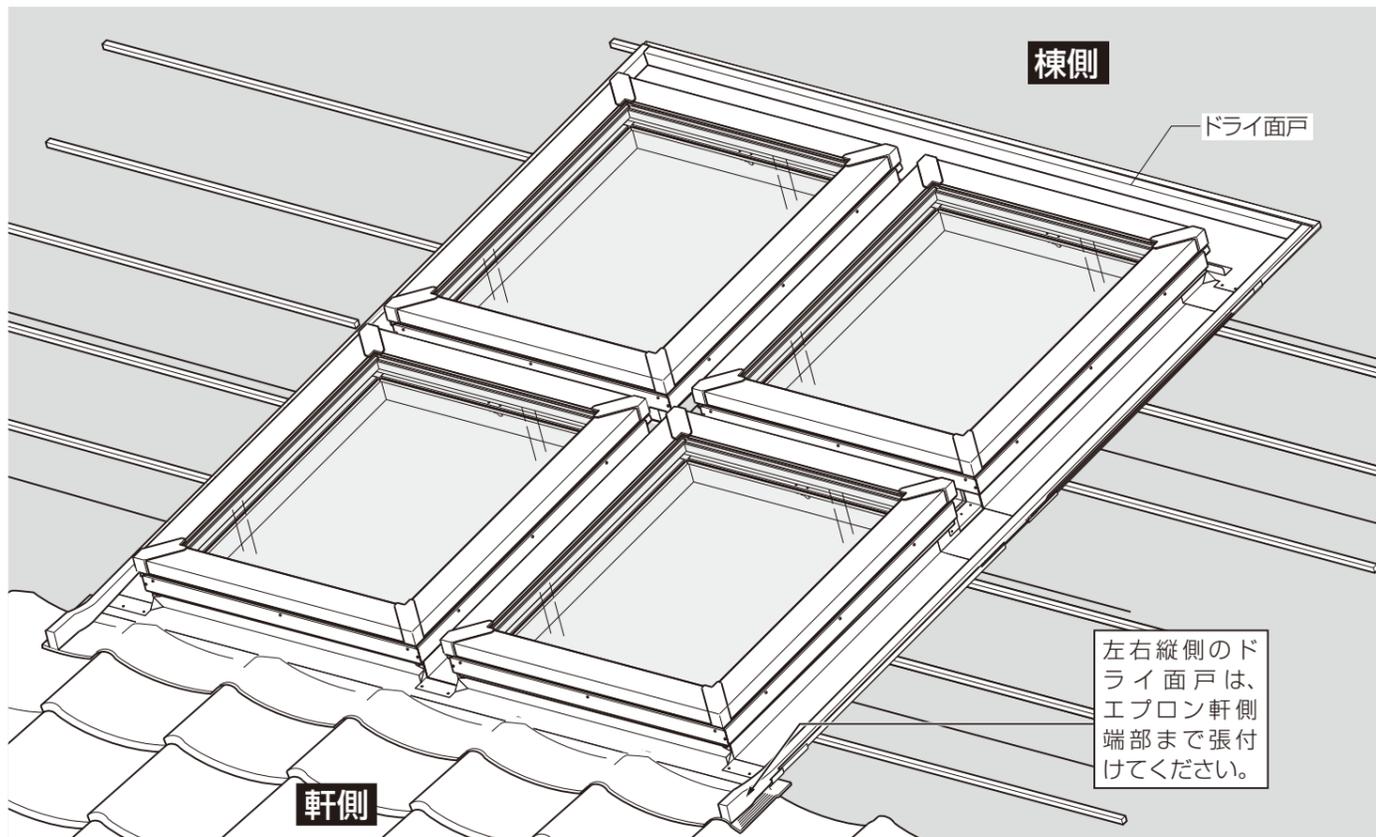


### ▲ 注意

- スカーートの組立てねじを先に取付けてください。取付けねじを先につけるとコーキングシーラーのつぶれが弱くなり雨漏りの原因となります。

## 11 ドライ面戸の取付け

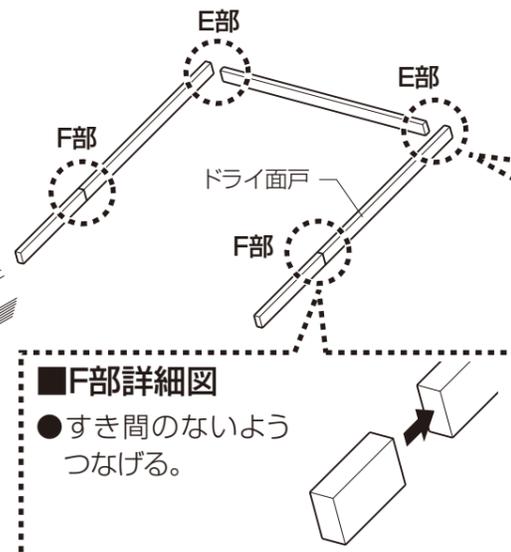
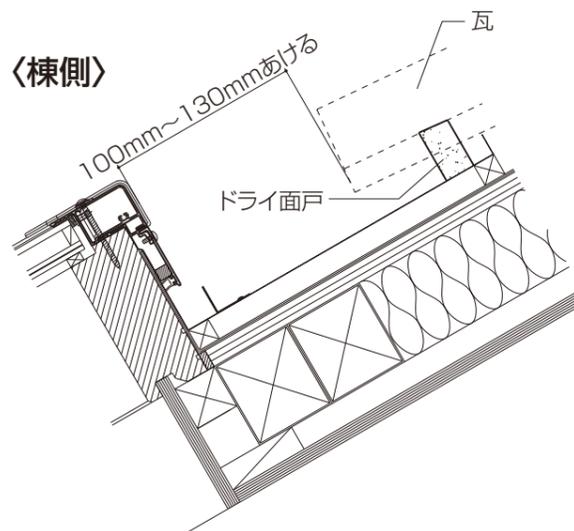
- 水切りの3方(棟側・左右縦側)にドライ面戸を取付けます。



### ▲ 注意

- 水切りの3方(棟側・左右縦側)には、必ずドライ面戸を張付けてください。

- ※ ドライ面戸は瓦の位置に合わせて張付け面の汚れを落とし、リケイ紙をはがし、押付けて取付けます。
- ※ ドライ面戸は瓦とのすき間に合わせて、高さを切って張付けてください。
- ※ サイズによっては縦用ドライ面戸が左右2本ずつ入っています。すき間のないように、つなげるように張付けてください。(F部)
- ※ 左右縦側のドライ面戸は、エプロン軒側端部まで張付けてください。



### ■ E部詳細図

- すき間のないように注意してください。

### ■ F部詳細図

- すき間のないようにつなげる。

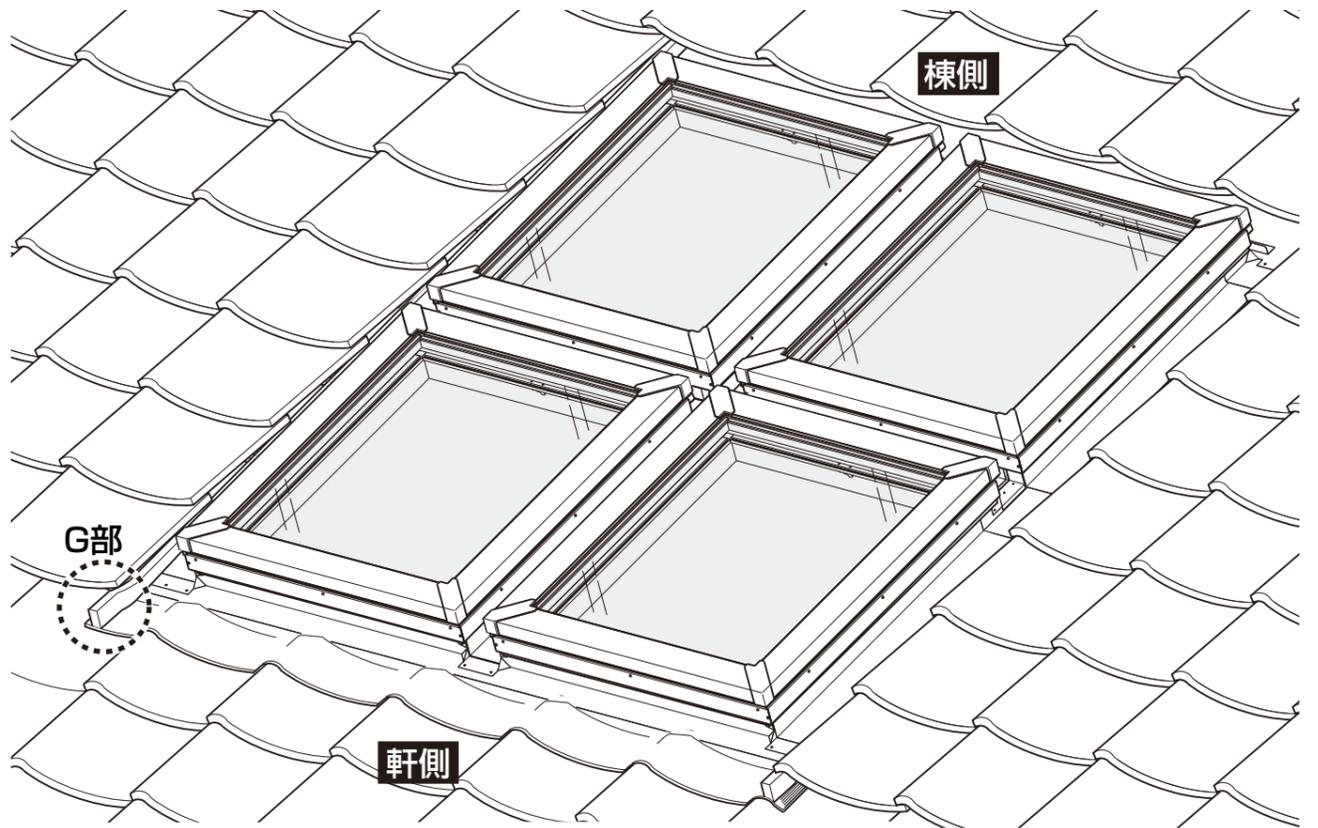
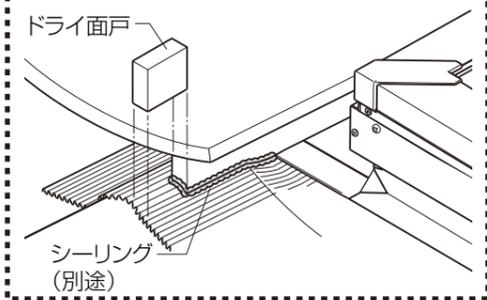
## 12 瓦のふき上げ

- 瓦をふきます。
- ドライ面戸の余った部分は切取ってください。
- エプロンとドライ面戸のすき間にはシーリング(別途手配)をしてください。

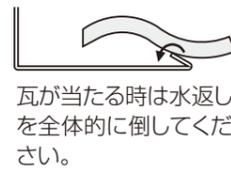
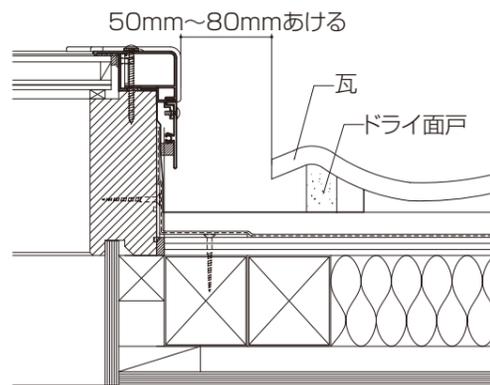
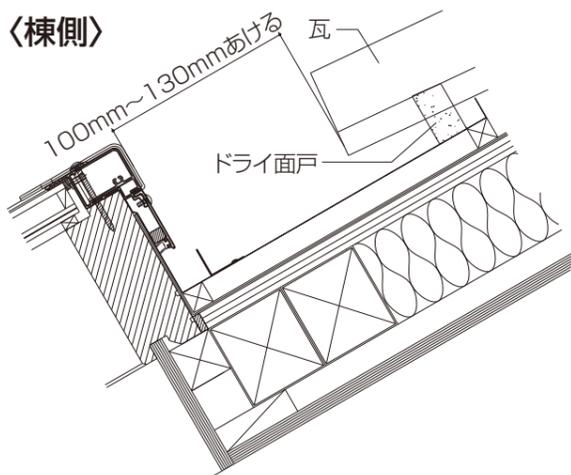
### ▲注意

- シーリング指示個所には、必ずシーリング材で防水処理をしてください。

### ■G部詳細図



### 〈棟側〉

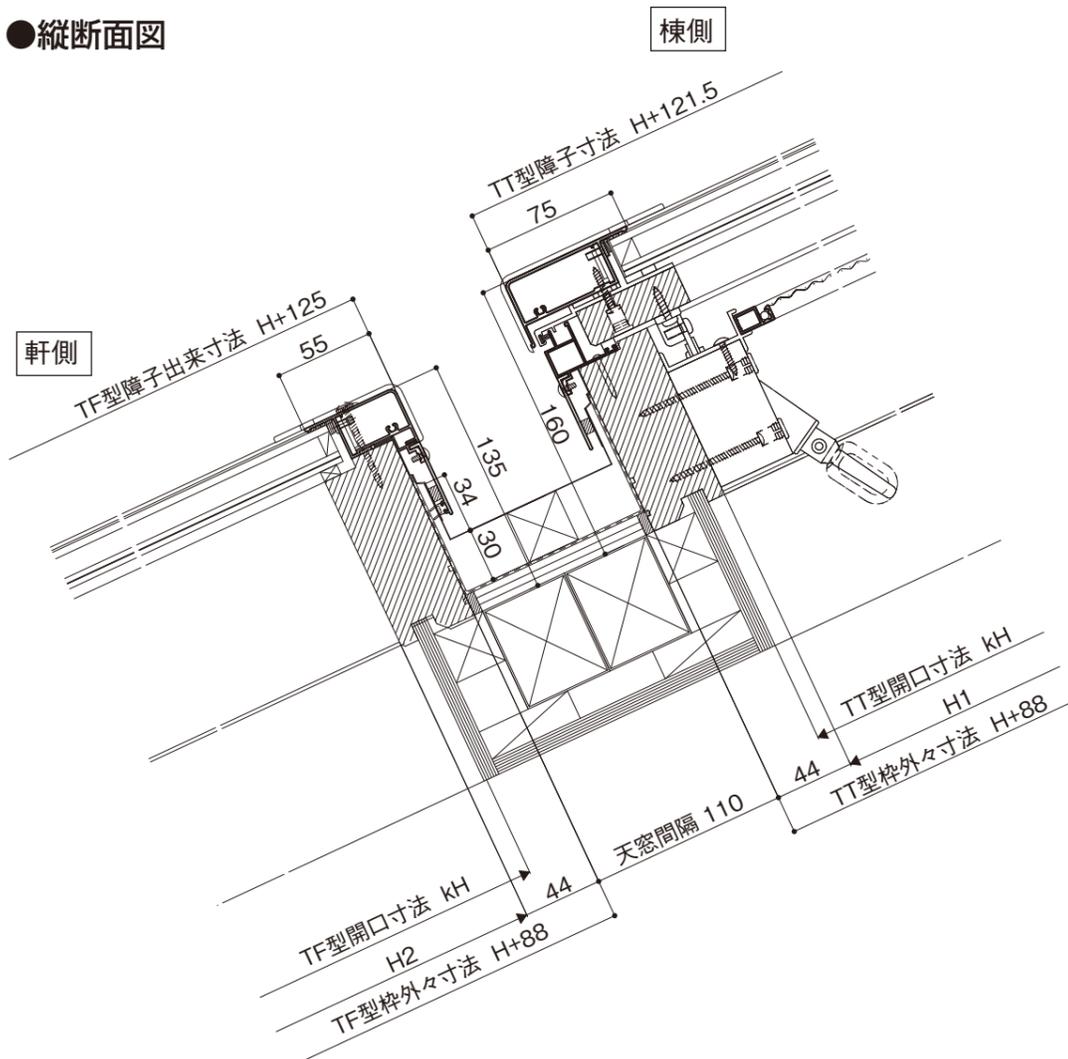


### ▲注意

- 瓦の施工時、本体と棟側瓦との間は100mm～130mmあけて、縦側瓦との間は50mm～80mmあけてください。雨漏りの原因となります。
- エプロンとドライ面戸のすき間のシーリングを必ず実施してください。雨漏りの原因となります。

## ■納まり参考図

### ●縦断面図



### ●横断面図

